

昭島市男女共同参画プラン（素案）に係るパブリックコメントの結果について

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
1	50	施策の方向 【1】男女共同参画に関する	「さまざまなメディアに含まれるジェンダー感覚を正しく読み解き判断する力を身につけ、ネットやSNS等からのトラブルを回避できるように、メディア・リテラシーの向上を目指します。」の対象者が誰なのかがわかりにくい。	市民のメディア・リテラシー（メディアの伝える情報を理解する能力）の向上を目指すという内容であることから「市民がさまざまなメディアに含まれるジェンダー感覚を正しく読み解き判断する力を身につけ、ネットやSNS上での人権侵害の被害者にも加害者にもならないために、メディア・リテラシーの向上を目指します。」へ修正します。
2		理解の促進と意識の醸成	上記文中の「トラブルを回避」という表現ではなく、一步踏み込んで「被害者、加害者にならないため」の表現を加えた方が意識が高まると思う。	
3	51	施策の方向 【1】男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成	「在住外国人」に関し、抽象的であり、根本的に在住外国人のために何がしたいのかが良く理解出来ない。無理矢理SDGs等に繋げようとしている感じで、実際には「IV. すべての人が安全・安心に暮らせるまちづくり」の「配慮を必要とする人に対する支援と多様性を尊重する環境の整備」や「防災・環境分野等のまちづくりにおける多様な視点の反映」などの部分で在住外国人や障がい者など、支援が必要な人達が抱えている問題を取り込むべきでは。	基本施策として展開する中で、さまざまな属性にとらわれず、男女共同参画社会の実現を目指すもので、在住外国人のみならず全ての人々がどの視点にも関わってくるものと考えております。本プランへの記載はいたしません。が、今後も市民ニーズに配慮しつつ、各事業の実施に努めてまいります。
4	53	施策の方向 【2】人権・男女平等に関する教育・啓発	平成15年の「男女共同参画都市宣言」以降、市内の小中学校では混合名簿が増えているが100%ではない。教職員が混合名簿の意味を理解するためにもプランに明記していただきたい。	昭島市の公立学校における名簿の形式については、各学校で決め、採用されています。本プランへの記載はいたしません。が、引き続き研修等を通じ、教職員への意識啓発に努めてまいります。
5	53	施策の方向 【2】人権・男	正月の箱根駅伝で優勝校の監督から「男だろう！」「男になれ！」という激励があった。テレビという公共の媒体を通じて多くの人が見ている中で、男	本プランの基本目標I「多様性を認め合い、すべての人が尊厳を持って暮らすことができる意識づくり」主要施策1-④「固定的な性別役割分担意識の

		女平等に関する教育・啓発	の役割、女の役割という固定的なイメージを作ってしまう発言はいかがなものなのか。市の施策として教育現場への指導、特に学校関係、スポーツ関係団体に向け、差別や人権侵害につながる言動を許さないような施策を明言してほしい。	解消に向けた啓発の推進」の中で、市民のメディア・リテラシーの向上、ジェンダーにとらわれない意識の啓発に努めると同時に、市が発信する様々な情報についても男女平等の視点から適切な表現に努めることによって、差別や人権侵害につながる言動を許さない社会を目指してまいります。
6	54	施策の方向 【2】人権・男女平等に関する教育・啓発	素案では、男性が参加しやすい講座、学習会となっているが、普段の講座や学習会は、男性だけでなく、平日に常勤で働いている女性も参加しにくいものが多い。平日の昼間に働いている人が参加出来る時間帯に講座や学習会を行うことは、とても大切だと思う。	基本目標 I -2-②「男性が参加しやすい講座・学習会の実施」については、家庭、地域等における人権・男女平等啓発に関する講座への参加は圧倒的に女性が多いことから、各種講座の実施にあたり男性の参加に配慮し企画していくという内容となっております。 今後も市民ニーズの把握に努め、それぞれの講座でテーマ・ターゲットを設定し、各層が参加しやすい時間帯に開催するなど工夫を重ねてまいります。
7	61	施策の方向 【6】家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの実現	障害児を抱えている母親が働き続けるためには、ここにある施策だけでは不十分なので、施策の充実を望む。	本プランへの記載はいたしません が、障害のあるご家族を支える体制づくりについては、多様性を推進する観点からも重要であり、関連する各計画において施策の充実を努めており、その中で対応が図られているものと考えます。
8	63	施策の方向 【7】配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援	素案の中で、「性的行為を強制された事がある」割合等が記載されていて、確かに命の危険があるものとは違うレベルの被害であるが、他人が同様の行為を行ったら、完全に性犯罪となる犯罪行為である。そのため素案での書き方が暴言などの DV と同じレベルの被害に勘違いされるような書き方になっていて、深刻な DV 被害とは言えないと	意識調査の結果から、被害者である女性側が男性側から受けた行為の中で割合の高い順に記載したものとなっております。「性的行為の強要」が被害者の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害であり、決して許されることではなく、「暴言」についても、夫（妻）の行為が、刑法やストーカー規制法などの刑罰法令に触れる場合は、処罰の対象

		の充実	取られる可能性が高いという点が気になる。	となり得る可能性もあります。 基本目標Ⅲは「あらゆる暴力の根絶」を目指し、すべての暴力は人権侵害であるという観点に立ち、策定を進めておりますので、現行の記載内容とさせていただきます。
9	64	施策の方向 【7】配偶者等からの暴力の	脚注 10「JK ビジネスとは、女子高生（JK）による性的なサービスを売りにした商売。」について、低年齢化が進み、女子中学生にも拡大している背景を考えると、「JC 含む」と記載したほうが良い。	主要事業の内容として「若年層を対象とした性的搾取につながる商業活動」を JK ビジネス等と表現しております。
10		防止及び被害者支援の充実	子ども、高齢者への虐待やネグレクトが疑われるとき、みずから通報することをためらう人が多いので、判断材料となるようなチェックシートがあるとよいと思う。	本プランへの記載はいたしません が、誰もが通報をためらうことのないよう、情報誌等へ定期的に掲載するなど、当事者や周囲の方の気づきにつながる情報の発信に努めてまいります。
11	68	施策の方向 【9】生涯にわたる男女の健康の包括的な支援	命の大切さ、性の素晴らしさ、面白さ、自身の身体を知る、妊娠のメカニズム、LGBT、正しい知識を得る機会がないように思われる。もっと身近に、タブー視されることなく、オープンに語れ、わからないことを知ることができるよう、教育現場では専門家による性教育を実施し、成人以降は啓発・相談機関があることが望ましい。性的マイノリティであってもリプロダクティブヘルス/ライツが保障されなければならないと考える。	男女の健康の包括的な支援、及び性の多様性についての啓発を進める観点からも、リプロダクティブヘルス/ライツの概念に基づいた包括的性教育の必要性については承知しております。現状では男女共同参画セミナーの開催や情報誌『Hi,あきしま』を発行するなど、啓発・情報提供に努めております。 また、男女共同参画センターにおいては、専属の相談員が常時相談対応にあたるとともに、女性悩みごと相談に加えて、令和 2 年度より男性悩みごと相談（電話）を開設するなど、性別にかかわらず市民の皆様にとり、より相談しやすい環境づくりを進め、様々な相談に対応できるよう努めております。
12	68～ 69	施策の方向 【9】生涯にわたる男女の健康の包	安心して子どもを産み育てられる社会にするために、里帰り先の地域で検診やケアを受けられるように、里帰り産婦への産後ケアを実施してほしい。 また、里帰り先から戻り、昭島で育児をしていくのにも、子育てしやすいまちであるのは大変心強い（同様の意見	市民を対象として産後ケア事業を実施しておりますが、里帰り先におけるサービスの提供につきましては、市外の方や里帰り先での御利用は検討課題となっております。 本プランへの記載はいたしません が、今後も市民ニーズに配慮しつつ、

		括的な支援	が他に2件あり。	各事業を実施する中で、子育て支援の充実に努めてまいります。
13			自身の身体と心を知り、自分で自分を守る術を知ることが、他人を大切にすることにも繋がり、差別がなくなるため、幼少期からの性教育は大変重要であるため、専門家を活用し、学齢期に繋がるような幼少期からの性教育実施をお願いしたい。その際、保護者や教職員の性教育に関する知識も更新する必要があると考える。性的マイノリティの教育（人権教育）も幼少期からしてほしい（同様の意見が他に2件あり）。	男女の健康の包括的な支援の観点から、また、性の多様性についての啓発を進める観点からも、リプロダクティブヘルス/ライツの概念に基づいた包括的性教育の必要性については承知しているところであり、男女共同参画セミナーや啓発のための情報誌『Hi,あきしま』において啓発・情報提供に努めております。
14	69	施策の方向 【9】生涯にわたる男女の健康の包括的な支援	主要施策9-①年代に応じた性教育の推進について、教員による児童・生徒への性暴力が話題になっているため、子どもたち自身が被害に気付くことができるよう、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブヘルス/ライツ）に関する性教育をきちんと実施してほしい。	現状、学校教育課程の中で発達段階に応じた性教育が実施されているものと考えます。
15	73	施策の方向 【11】防災・環境分野等のもちづくりにおける多様な視点の反映	災害時の避難先を利用するにあたり、オムツや液体ミルクの支援はあるが、乳幼児をかかえた母親への配慮が少ないように思う。昭島市内の母子避難先を設定し周知してほしい。その避難所には必要な物資を確保してほしい。また、男女共同参画の視点からの避難所運営にあたり、防災課だけではなく健康課、子ども子育て支援課との連携も必要だと考えられる（同様の意見が他に2件あり）。	母子避難所として限定することは困難ですが、福祉避難所などのより細かな配慮が出来る避難所で対応してまいります。 避難所運営については、女性の視点を含む様々な視点からの意見を取り入れていくことが大変重要だと認識しており、各避難所では、避難所運営委員会を設置し運営方法など検討し、様々な配慮が必要な方の対応についても話し合っております。今後も、必要に応じ対応できるよう、関係部署とも連携を図りながら運営にあたってまいります。
16	78～79	総合的な推進体制	男女共同参画啓発のための情報誌「Hi,あきしま」について、自治会回覧では多くの市民の目に留まりにくい	年2回、各7000部を発行し、市内公共施設への設置、各自治会内での回覧に加え、第40号（2015年10月発行）

		め、全戸配布にすべき。	よりデジタルブックも活用し周知に努めています。今後も広報やホームページ等への掲載等、広く情報を発信し、啓発に努めてまいります。
17		相談員が非正規雇用の女性が多い問題が報道されているので、市民が安心して相談できるよう「正規雇用の専門相談員」が相談対応にあたることを明記してほしい。	男女共同参画センターの相談員に関しては、現状、市の正規職員2名、雇用期間の定めのある常勤の相談員1名と、委託の2名で相談対応にあっており、p79②相談事業の記載内容となっていますので御理解いただきたいと存じます。
18		男女共同参画センターが開設され、個人が予約なしに利用できるようになったことを喜ばしく思うが、知名度が低く、場所もわかりにくいので、パンフレット等を作成し、周知に努めていただきたい。	年度内を目途に作業を進めており、併せて、本プランの概要版やホームページ等も活用し、センターの周知に努めてまいります。